

診療グループ名 大腸がん
レジメンセット名称 83 FOLFIRI+RAM

投与規定

インターバル日数(14)日
レジメン基準日 day(1)

通しNo	癌	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	器具	day(1)	day(2)	day(3)	day(4-14)
		生食100mL	100 mL		ラインキープ用			●			休業
No.1		生食100mL	100 mL	点滴静注	メイン①	30min		●			
		ボラミン注5mg	5 mg					●			
		デキサート注射液	3.3 mg					●			
		グラニセトロン静注3mg	3 mg					●			
No.2		生食250mL	250 mL	点滴静注	メイン②	60min		●			
		◆ サイラムザ点滴静注	8 mg/kg		開始時No.8アプレビタント服用			●			
		*全量250mLとなるように調製 *インラインフィルタ(0.2ミクロン)使用									
No.3		生食100mL	100 mL	点滴静注	メイン③	60min		●			
					サイラムザ投与3ケル目以降速度全開に変更可						
No.4		5%ブドウ糖500mL	500 mL	点滴静注	メイン④	120min		●			
		レボホリナート点滴静注用	200 mg/m2					●			
No.5		5%ブドウ糖250mL	250 mL	点滴静注	側管①	120min		●			
		◆ イリノテカン塩酸塩点滴静注液	150 mg/m2		メイン④と同時に			●			
No.6		生食50mL	50 mL	点滴静注	メイン⑤	全開		●			
		◆ フルオロウラシル注	400 mg/m2		メイン④終了後			●			
No.7		ソルデム3A輸液	500 mL	点滴静注	メイン⑥	46hr 13mL/hr(※)		●			
		ヘパリンNa注5千単位/5mL	5 mL		メイン⑤終了後			●			
		◆ フルオロウラシル注	2400 mg/m2					●			
		*全量500mLとなるように調製									
No.8		アプレビタントカプセル125mg内服	125 mg	内服	メイン②開始時服用			●			
No.9		アプレビタントカプセル80mg内服	80 mg	内服	朝食後				●	●	
No.10		デカドロン錠4mg内服	4 mg	内服	朝食後				●	●	

* 投与速度は理論上11mL/hrとなるが、実際は13mL/hrにて46時間投与となることが検証されたため

中止(延期)基準(イリノテカン)

検査値	基準
WBC	<3000
Plt	<100000

中止基準(フルオロウラシル)

検査値	基準
T-Bil	>5.0mg/dL

減量・中止基準(サイラムザ)

蛋白尿
1日尿蛋白量2g以上(初回発現時)
1日尿蛋白量2g未満に低下するまで休業し、再開する場合には6mg/kgに減量する。
1日尿蛋白量2g以上(2回目以降の発現時)
1日尿蛋白量2g未満に低下するまで休業し、再開する場合には5mg/kgに減量する。
1日尿蛋白量3g以上
投与中止
高血圧
症候性のグレード2、又はグレード3以上
処置:降圧剤による治療を行い、血圧がコントロールできるようになるまで休業
降圧剤による治療を行ってもコントロールできない場合には、投与中止

上記表にて設定する抗がん剤等について

通しNo	薬品名・規格	標準値	上限値
No.2	◆ サイラムザ点滴静注	8 mg/kg	
No.4	レボホリナート点滴静注用	200 mg/m2	
No.5	◆ イリノテカン塩酸塩点滴静注液	150 mg/m2	
No.6	◆ フルオロウラシル注	400 mg/m2	
No.7	◆ フルオロウラシル注	2400 mg/m2	

診療グループ名 大腸がん
レジメンセット名称 83 FOLFIRI+サイラムザ【インフューザー】

投与規定
インターバル日数(14)日
レジメン基準日 day(1)

通しNo	癌	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	器具	day(1)	day(2)	day(3)	day(4-14)
		生食100mL	100 mL		ラインキープ用			●			休業
No.1		生食100mL	100 mL	点滴静注	メイン①	30min		●			
		ボラミン注5mg	5 mg					●			
		デキサート注射液	3.3 mg					●			
		グラニセトロン静注3mg	3 mg					●			
No.2		生食250mL	250 mL	点滴静注	メイン②	60min		●			
		◆ サイラムザ点滴静注	8 mg/kg		開始時No.8アプレビタント服用			●			
		*全量250mLとなるように調製 *インラインフィルタ(0.2ミクロン)使用									
No.3		生食100mL	100 mL	点滴静注	メイン③	60min		●			
					サイラムザ投与3ケル目以降速度全開に変更可						
No.4		5%ブドウ糖500mL	500 mL	点滴静注	メイン④	120min		●			
		レボホリナート点滴静注用	200 mg/m2					●			
No.5		5%ブドウ糖250mL	250 mL	点滴静注	側管①	120min		●			
		◆ イリノテカン塩酸塩点滴静注液	150 mg/m2		メイン④と同時に			●			
No.6		生食50mL	50 mL	点滴静注	メイン⑤	全開		●			
		◆ フルオロウラシル注	400 mg/m2		メイン④終了後			●			
No.7		生食100mL	FU量により調整	点滴静注	メイン⑥	46hr 13mL/hr(※)	ハクスターインフューザー-SV2	●			
		ヘパリンNa注5千単位/5mL	5 mL		メイン⑤終了後			●			
		◆ フルオロウラシル注	2400 mg/m2					●			
No.8		アプレビタントカプセル125mg内服	125 mg	内服	メイン②開始時服用			●			
No.9		アプレビタントカプセル80mg内服	80 mg	内服	朝食後				●	●	
No.10		デカドロン錠4mg内服	4 mg	内服	朝食後				●	●	

上記表にて設定する抗がん剤等について

通しNo	薬品名・規格	標準値	上限値
No.2	◆ サイラムザ点滴静注	8 mg/kg	
No.4	レボホリナート点滴静注用	200 mg/m2	
No.5	◆ イリノテカン塩酸塩点滴静注液	150 mg/m2	
No.6	◆ フルオロウラシル注	400 mg/m2	
No.7	◆ フルオロウラシル注	2400 mg/m2	

中止(延期)基準(イリノテカン)

検査値	基準
WBC	<3000
Plt	<100000

中止基準(フルオロウラシル)

検査値	基準
T-Bil	>5.0mg/dL

減量・中止基準(サイラムザ)

蛋白尿
1日尿蛋白量2g以上(初回発現時)
1日尿蛋白量2g未満に低下するまで休業し、再開する場合には6mg/kgに減量する。
1日尿蛋白量2g以上(2回目以降の発現時)
1日尿蛋白量2g未満に低下するまで休業し、再開する場合には5mg/kgに減量する。
1日尿蛋白量3g以上
投与中止
高血圧
症候性のグレード2、又はグレード3以上
処置:降圧剤による治療を行い、血圧がコントロールできるようになるまで休業
降圧剤による治療を行ってもコントロールできない場合には、投与中止